

でんさい利用業者の事例紹介

平成29年6月12日（月）
四国ドック株式会社

企業概要と会社の沿革



商号	四国ドック株式会社
本社住所	香川県高松市朝日町1丁目3番23号
事業内容	造船業（新造船の建造のみ）
建造隻数	約4～5隻（年間）
従業員数	170名

【会社の沿革】

昭和 2年（1927年）
昭和30年（1955年）
昭和39年（1964年）
昭和41年（1966年）
平成 8年（1996年）
平成19年（2007年）
平成27年（2015年）

高松造船所として創業
四国ドック株式会社設立、三井造船技術指導開始
三井造船(株)様、(株)百十四銀行様、他資本参加
初の冷凍運搬船完工
世界初の船台ローラー方式進水開始
本社工場用地買収拡張
創立60周年

製品紹介



冷凍運搬船(615型RF)



ばら積み貨物船
(載貨重量2万9千トン型)



ばら積み貨物船
(載貨重量3万5千トン型)



ばら積み貨物船
(載貨重量3万6千トン型)

建造実績

(1955. 11月#1船引渡し、平成27年9月完工S1093番船まで)

建造隻数累計 : 439隻

RF累計隻数: 68隻 (2010年4月完工S1053番船まで)

BC船型別隻数: 18, 000DW... 17隻
24, 000DW... 2隻
29, 000DW... 36隻
35, 000DW... 7隻
36, 000DW... 17隻

その他(小型BC等々): 292隻 (S1093番船まで)

でんさい導入の事例紹介

目 次

1. でんさいの導入前
2. でんさいのメリット、デメリット
3. でんさいの導入に向けた対応
4. でんさいの導入後の状況
5. 良かった点・苦労した点
6. 今後の目標
7. でんさいの導入について（まとめ）

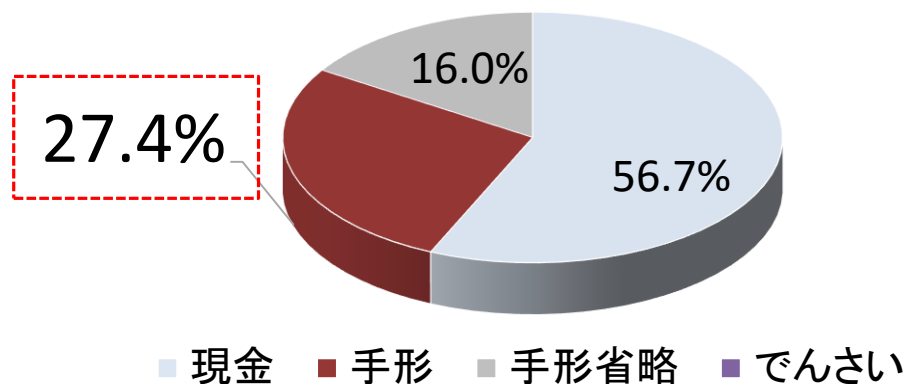
1. でんさいの導入前

支払の割合(2012年)

銀行振込による・・・56.7%

支払手形による・・・27.4%

手形省略による・・・16.0%

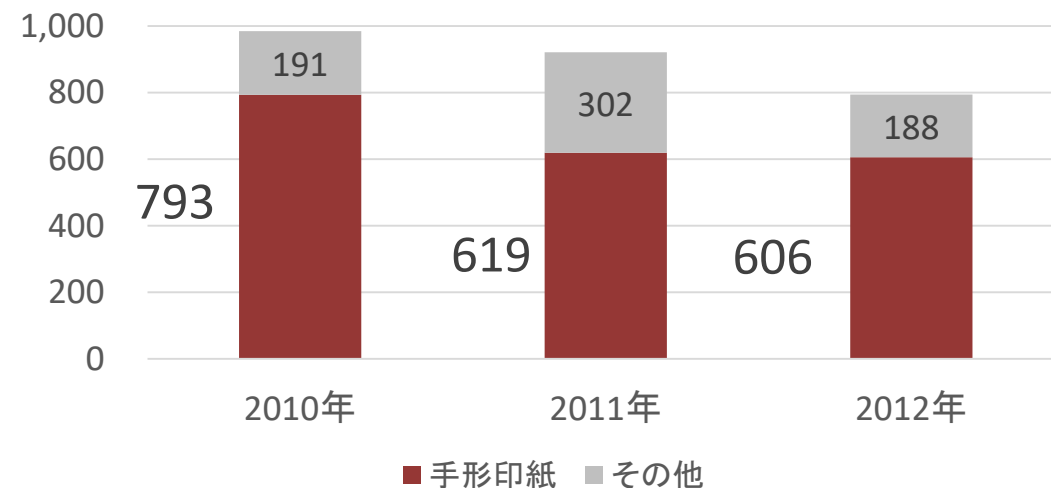


印紙税の実績

手形用・・・670千円(3力年平均)

その他・・・230千円(3力年平均)

単位:千円



* 手形省略とは・・・支払手形を発行せずに期日(90, 120, 150日)に現金を振り込むこと。(主には大企業が対象となっています)

支払手形の比率は30%弱となっており、手形発行のために年間で約60～80万円程度の印紙が必要となっています。

2. でんさいのメリット・デメリット

メリット(支払企業)

- 支払事務作業の効率化: **手形の発行、郵送の手間**がかかりません。
- 印紙税の削減: **印紙税**がかかりません。

デメリット(支払企業)

- 事務作業の繁雑化: 手形からでんさいへの変更の際し、事務作業が一時的に**繁雑化**します。(支払条件: 月末締め翌月20日払)
- インターネットバンキングへの登録: **インターネットバンキング**を利用して**いない企業は新規契約が必要(費用が発生)**
- 会計・システムへの影響: でんさいに関わる部分(勘定科目、支払条件等)の修正が必要

3. でんさいの導入に向けた対応

(1) でんさいに関する調査の実施

2013年 4月 主要取引先(18社)に対して、でんさいのアンケートを実施(別紙①)

「でんさいネット」を知っているか?・・・知っている(9社)
「でんさいネット」を利用予定か?・・・利用を予定(9社)

6月 「でんさい」の実施可否を244社宛てに回答要請(別紙②)

でんさいへの支払変更を希望する方・・・69社が変更を同意

10月 利用者番号をシステムへ登録し、でんさいでの支払を準備

11月 11月分から「でんさい」での支払を開始(15社)

69社はでんさいへの変更を同意頂き、その内の15社について11月から支払をでんさいに変更しました。現在も定期的にでんさい変更の依頼をしており、でんさい取引は徐々に増加しています。

(2) 会計・支払への影響

① 会計処理の影響

→ 親会社、税理士へ確認し、影響箇所を確認しました。

勘定科目の追加：電子記録債務

残高の管理：でんさいの期日管理が必要

決算書類への追加：B／S（負債勘定）、注記表、持越勘定明細の表示

② 支払への影響

でんさい利用申し込み：利用者番号の登録

インターネットバンキングの利用方法：申請、承認等の入力方法

→ 取引銀行の操作説明を受けました。（会社に来て頂きました。）

(3)でんさいの導入費用

初期、維持費用

弊社の場合＝費用はかかりませんでした。

インターネットバンキング利用料金：追加費用なし（現状契約のまま利用可）

システム改修：費用なし（保守内でサポート）

インターネットバンキングの利用がない場合

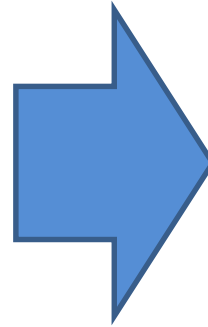
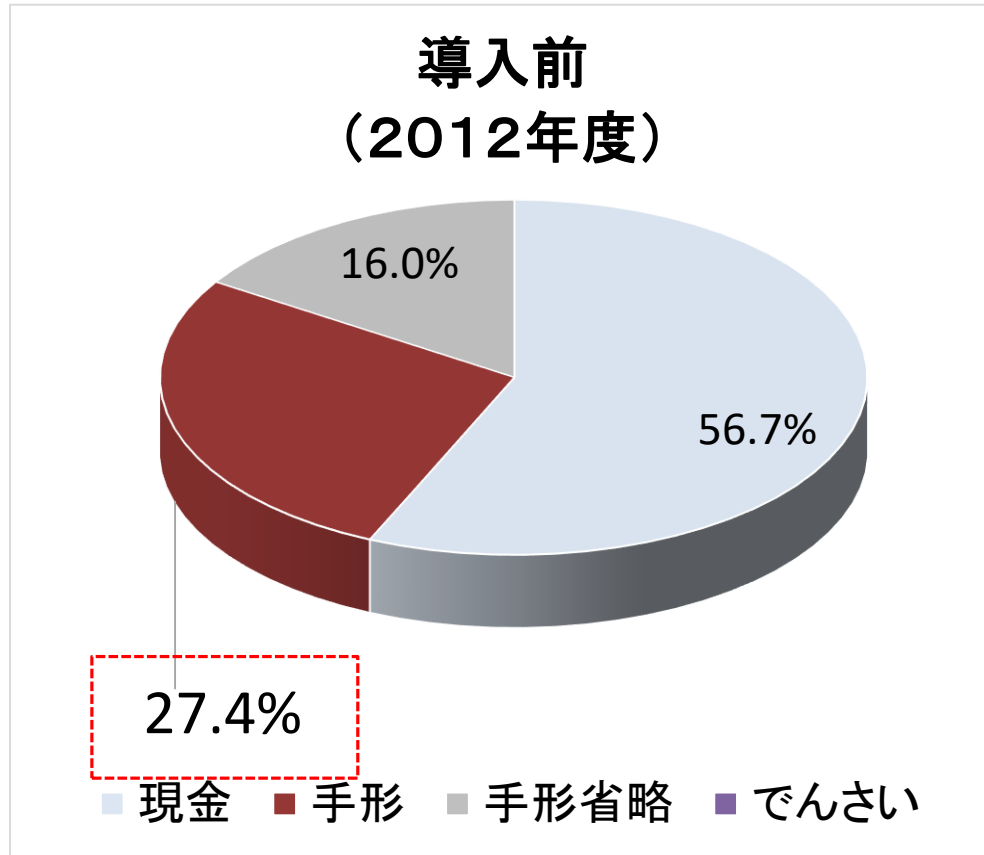
<利用料金（弊社の取引銀行の場合）>

基本料金	1,080円（税込）	
追加ID料金	ご利用者が5名以下の場合	無料
	ご利用者が5名を超える場合	5名を超えるご利用者に対して1名当たり 216円（税込）/月

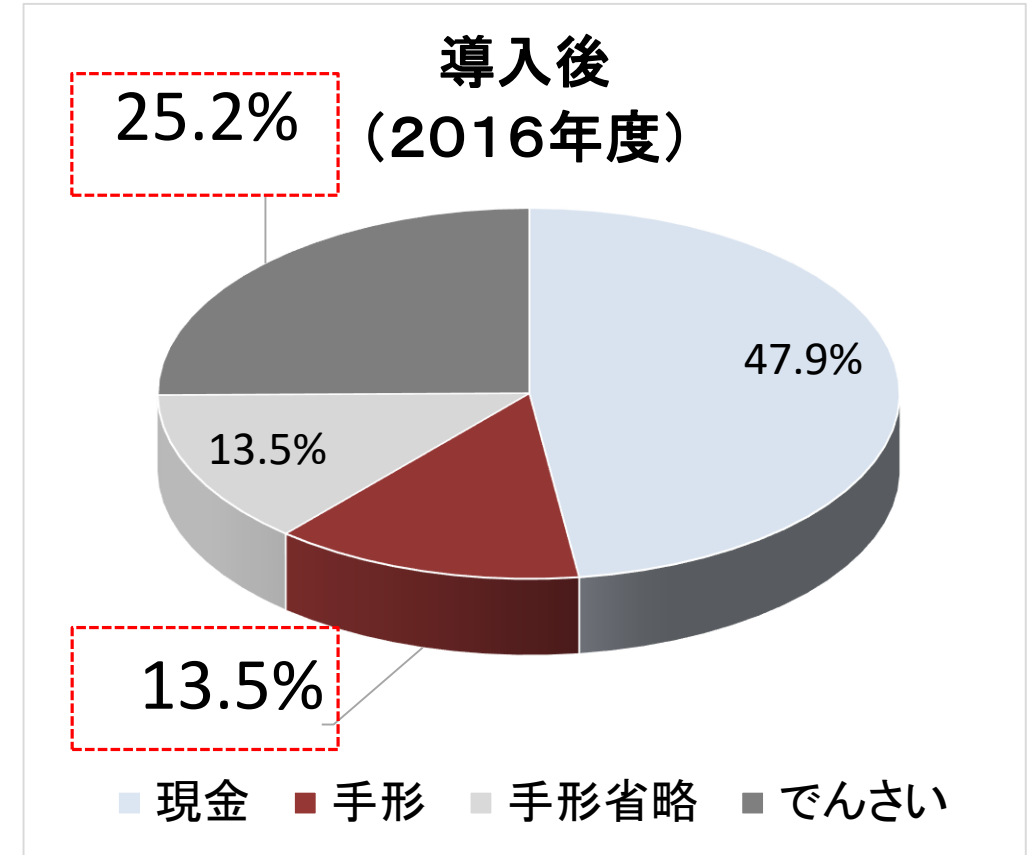
* 基本料金は銀行により、異なりますので、取引前に取引銀行へご確認ください。

4. でんさいの導入後の状況

【支払の割合】

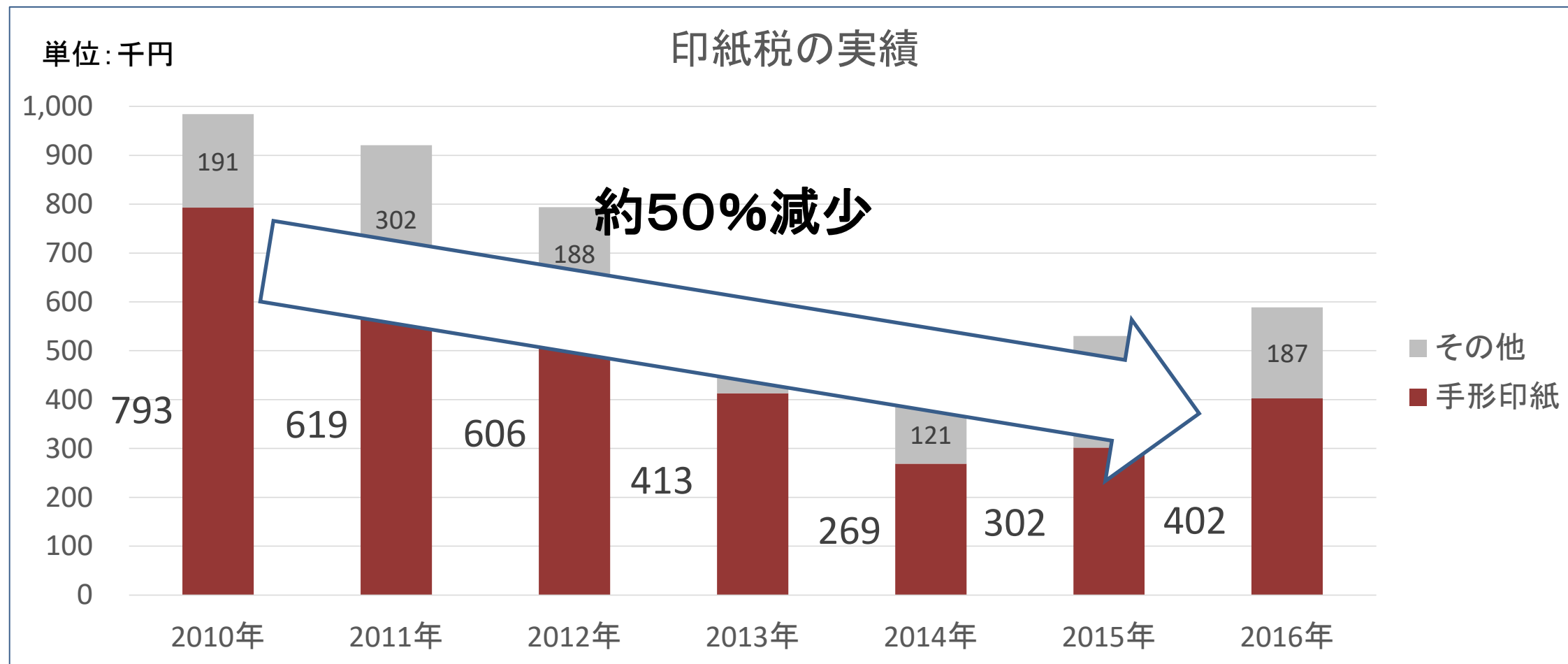


約14%減



でんさいを導入したことで支払手形が減少し、印紙税の削減と業務の効率化が図れました。

(1)経費の削減(印紙税)



* 2014年以降、印紙税が増加している理由は、船種の違いにより、支払金額全体が増加したことによるものです。
(支払いが増加したことで、手形の支払いも増えています。)

支払手形が減少したことによって、印紙税の削減にも繋がっています。

(2) 事務作業の効率化

<導入前>

手形発行件数(月)60件 ⇒ 約5時間

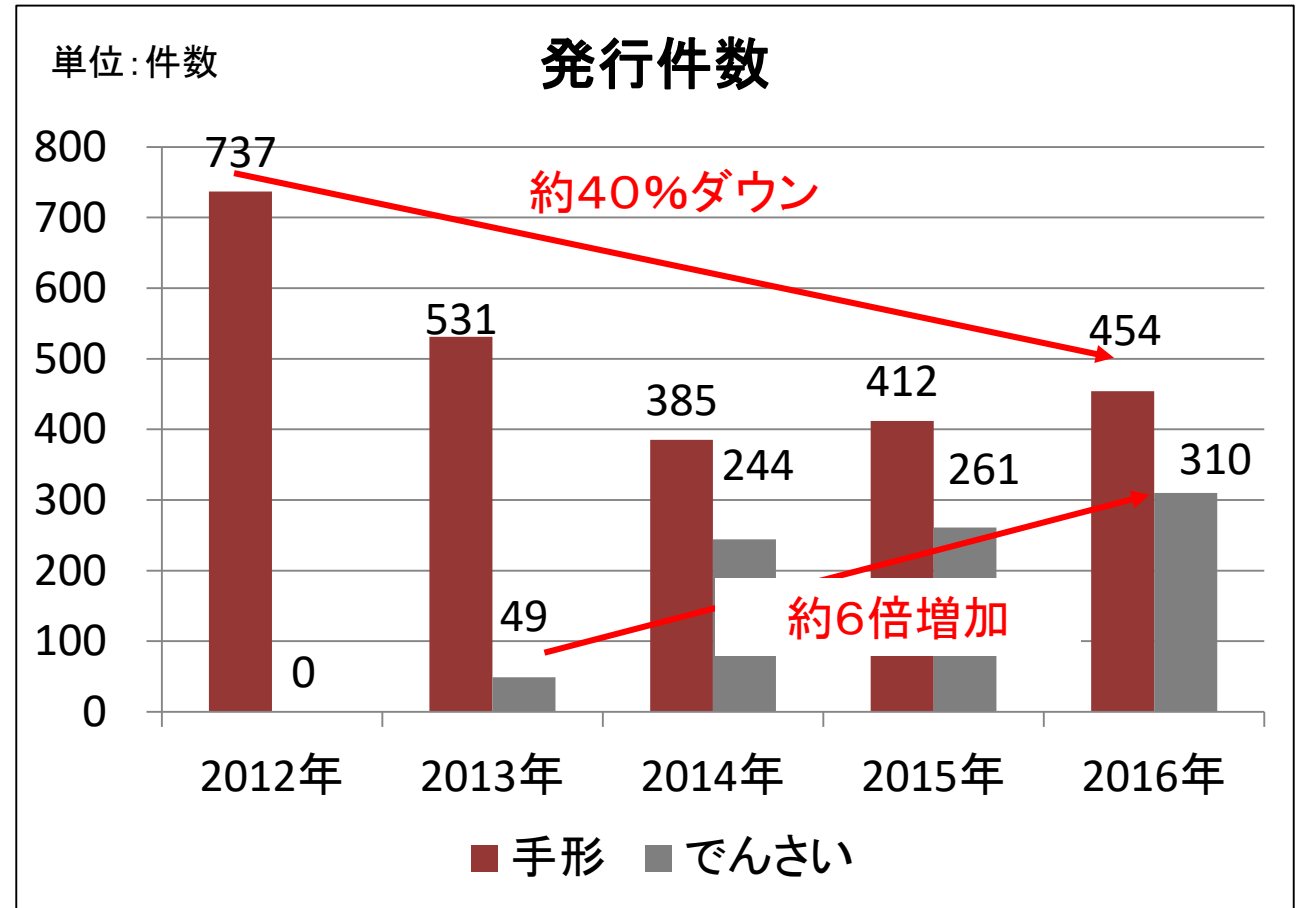


<導入後>

手形発行件数(月)30件 ⇒ 約2.5時間

でんさい作業(月)30件 ⇒ 約0.5時間

月間で約2時間の削減！！



支払手形の発行枚数が減少して、でんさいの導入が2014年から上昇しています。手形発行件数の削減により事務作業の効率化が図れました。

5. 良かった点・苦勞した点

【良かった点】

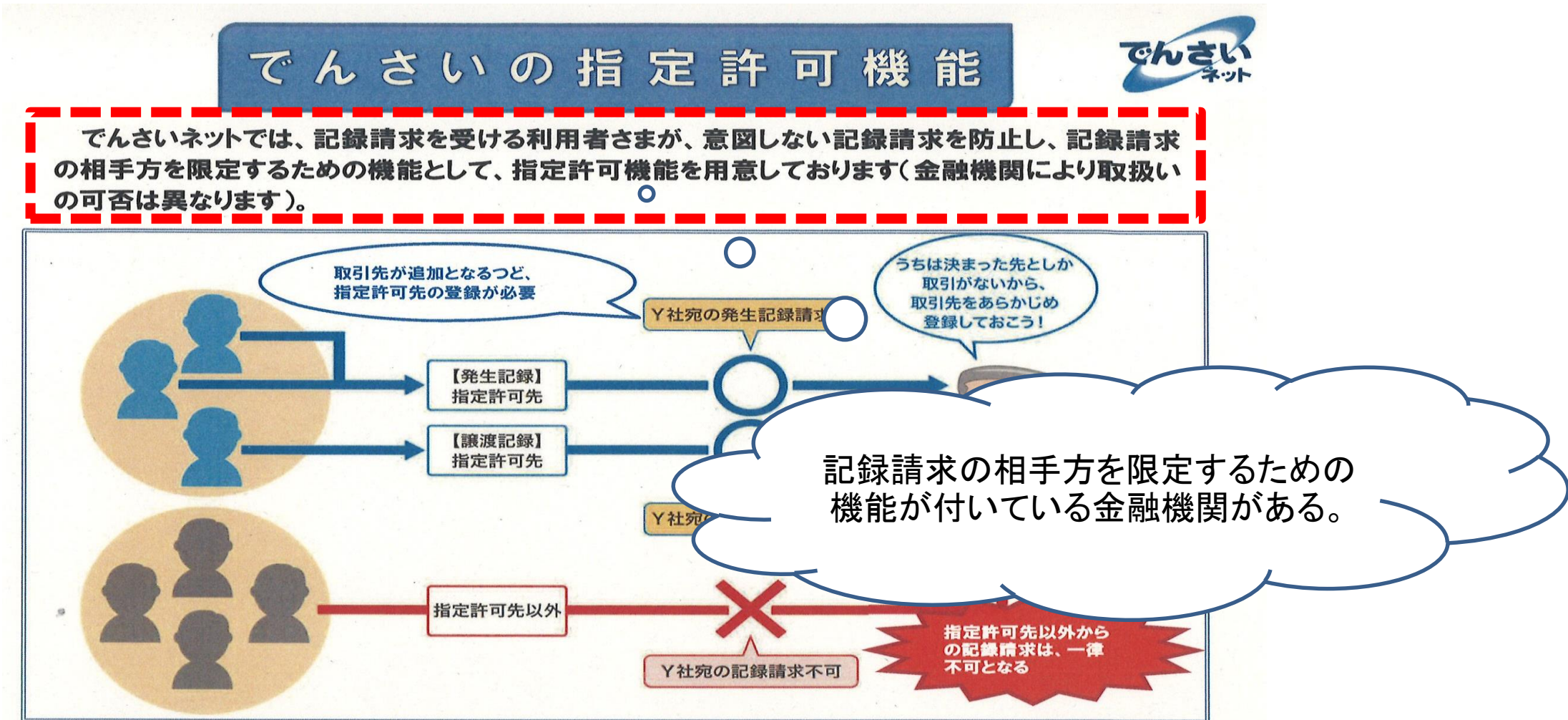
- ・支払手形作成の手間(印刷、確認、押印、封書入れ)が省けました。
- ・領収証の返送も不要で、領収証整理の時間が短縮され、保管スペースも縮小されました。
- ・印紙代、封筒代、手形印刷用の紙代が減りました。
- ・支払手形の控えが減ったことによって、保管スペースが縮小されました。 など

【苦勞した点】

- ・各企業の利用者番号には、規則性がない為、確認作業に手間がかかりました。
- ・トラブル事例「こんなときは・・・」のQ&Aがなく、導入時は不安でした。
- ・支払手形のみで、受け取り側の仕組みがわからず、上手くいったかどうか不安でした。
- ・導入当初はまとまったデータの中に1件でもエラーがあると、全部がエラー扱いとなり、修正(再申請)が大変でした。

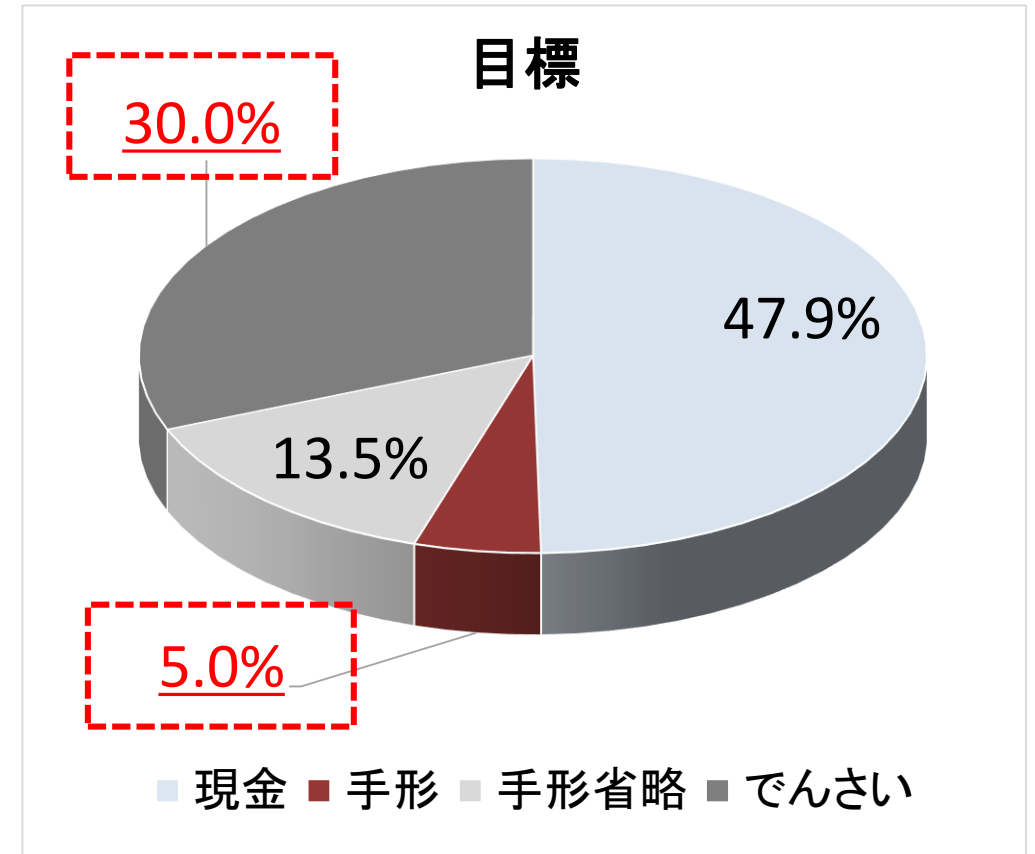
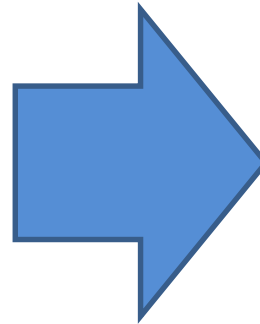
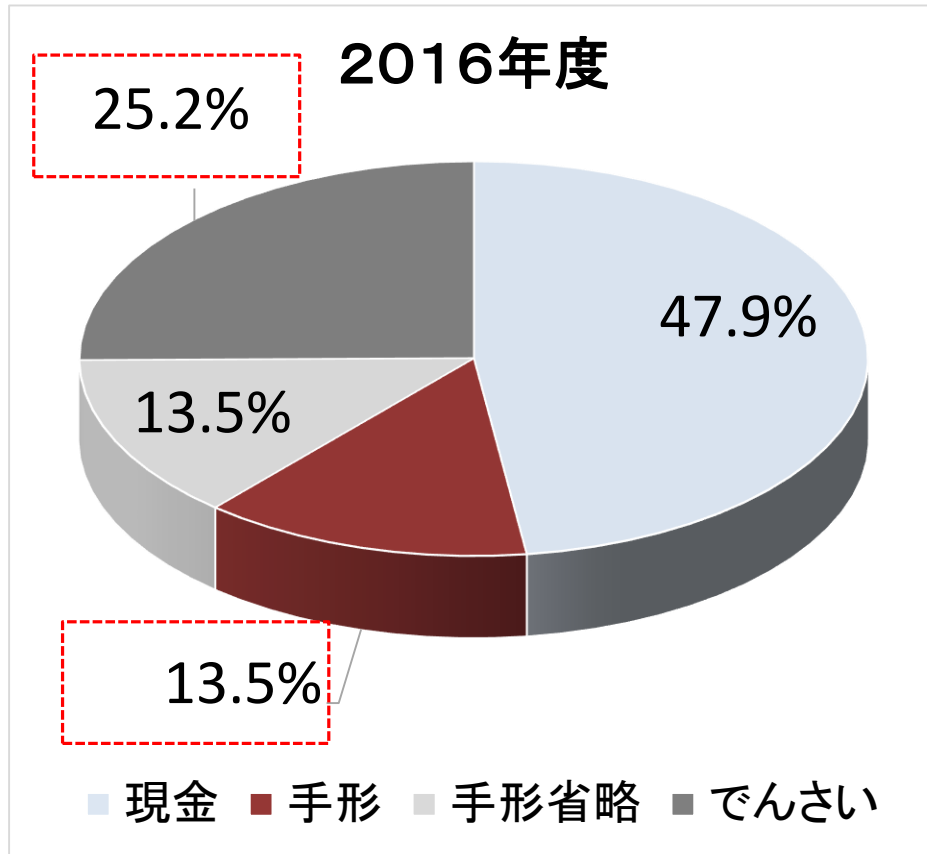
最近のトラブル事例・・・

直近のトラブル事例：でんさいの指定許可機能での申請拒否について



指定許可機能のある銀行と取引する場合は、でんさい申請が拒否される場合がありますので、取引銀行に確認した上で、でんさい取引を開始することをお勧めします。

6. 今後の目標



2019年度までに支払手形の比率を5%以下に圧縮することを目標に
今後もでんさい導入を進めていきます。

7. でんさいの導入について（まとめ）

でんさいを導入し、支払が完了するまでは不安な事も多々ありましたが、導入後は業務の簡素化が図れ、経理の担当者も満足しています。

しかし、でんさいの導入は電子取引（インターネットバンキング取引）の利用が必須です。インターネットバンキングを利用したことがない企業にとっては、いろいろと不安なことがあると思いますが、支払業務を簡素化し、業務の改善を図っていくことも重要な業務だと思しますので、でんさいの導入（電子化等）をご検討ください。

弊社へのでんさいに関する問い合わせがありましたら、下記の担当までお願いします。

会社名：四国ドック株式会社
住所：高松市朝日町1丁目3番23号
担当者：業務統括部 経理部 宮武／宮崎
電話：087-851-9021

ご清聴ありがとうございました。
でんさいの導入に今後ともご協力をお願いします。

四国ドック株式会社